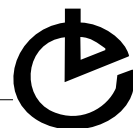


議会だより とくのしま



第 173 号

平成 25 年 11 月 1 日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒 891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997 (82) 1111 FAX 0997 (82) 1101



救急用ヘリコプター場外離着陸場を視察する議員ら

第 3 回定例会

9 月 18 日～ 9 月 27 日

- ☆ 審議された案件と議決結果
- ☆ 一般質問（8 氏登壇）
- ☆ 議員研修レポート、議会の動き
- ☆ 徳之島地区介護保険議会報告

P 12
P 13 ～ P18
P 19
P 20

9 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果			
(議案)				
・植物工場設置条例の制定	原	案	可	決
・救急用ヘリコプター場外離着陸場設置条例の制定	原	案	可	決
・町税等の滞納に対する行政サービスの制限措置等に関する条例の制定	原	案	可	決
・総務課関係条例の整備に関する条例の制定	原	案	可	決
・住民生活課関係条例の整備に関する条例の制定	原	案	可	決
・健康増進課関係条例の整備に関する条例の制定	原	案	可	決
・地域営業課関係条例の整備に関する条例の制定	原	案	可	決
・水道課関係条例の整備に関する条例の制定	原	案	可	決
・議会事務局関係条例の整備に関する条例の制定	原	案	可	決
・学校教育課関係条例の整備に関する条例の制定	原	案	可	決
・過疎地域産業開発促進条例の一部改正	原	案	可	決
・町税外収入の督促手数料及び延滞金に関する条例の一部改正	原	案	可	決
・農業委員会委員の選挙による委員定数条例の一部改正	原	案	可	決
・税条例の一部改正	原	案	可	決
・へき地保育所設置条例の一部改正	原	案	可	決
・町立学校設置条例の一部改正	原	案	可	決
・過疎地域自立促進市町村計画の一部変更	原			決
・総合整備計画の変更	可			決
・町道の認定	可			決
・公共下水道事業可搬式発電機購入契約	可			決
・平成 25 年度一般会計補正予算（第 4 号）	原	案	可	決
・平成 25 年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	原	案	可	決
・平成 25 年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原	案	可	決
・平成 25 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）	原	案	可	決
・平成 25 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原	案	可	決
・平成 25 年度公共下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	原	案	可	決
・平成 25 年度地域包括支援センター事業特別会計補正予算（第 2 号）	原	案	可	決
・平成 25 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	原	案	可	決
・平成 25 年度水道事業会計補正予算（第 3 号）	原	案	可	決
・平成 24 年度一般会計歳入歳出決算の認定	原			定
・平成 24 年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認			定
・平成 24 年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認			定
・平成 24 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	認			定
・平成 24 年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認			定
・平成 24 年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認			定
・平成 24 年度地域包括支援センター事業特別会計歳入歳出決算の認定	認			定
・平成 24 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認			定
・平成 24 年度水道事業会計歳入歳出決算の認定	認			定
(諮問)				
・人権擁護委員候補者の推薦（白田みち子氏）	適			任
(報告)				
・平成 24 年度健全化判断比率				
・平成 24 年度資金不足比率				
・公営住宅未払い賃料請求に関する訴訟の提起及び調停の申立て				
(請願)				
・T P P 交渉からの撤退を要求する請願書	継	続	審	査
(陳情)				
・「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情書	継	続	審	査
・国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書	継	続	審	査
・百条委員会の設置を求める陳情書	不	採		択
(発議)				
・道州制導入に断固反対する意見書	原	案	可	決

いっばん質問

9月定例会には、8人の議員が登壇し、環境問題、美農里館の運営管理、北部振興、さらに教育やスポーツ振興、農業振興など町政全般にわたり執行部の考えをたしました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

対象地域との話し合いは

町 田喜男 議員



問 世界自然遺産登録に向けて候補地科学委員会では、奄美大島、徳之島、沖縄本島、西表島の4島を軸に対象地区を絞り込み、今後重点地区を定め暫定リストへ記載、国立公園化を目指している。今後対象地域とどのように話し合いを進めていくのか。

答 長川企画課長
世界自然遺産登録・国立公園化に向けた取り組みは、関係機関で連携しながら勉強会や住民説明会を実施してきた。今後は、北

北部地区でも

説明会

部地区でも説明会を実施し、理解が得られるよう推進する。

山地区の

住宅計画は

問 徳之島町公営住宅ストック総合活用計画に示されている、山地区の住宅建て替え、並びに合併処理浄化槽の設置はいつの予定か。

平成26年度1棟予定

答 麓建設課長

山地区住宅の建て替えは、平成26年度旧兼久田住宅跡地に、木造平屋建て1棟1戸、平成29年度内千川住宅の建て替えを予定している。合併処理浄化槽設置は、町単独事業となるので、財政側と協議し進めていきたい。

防風林は

現状のままか

問 防風林（緑地帯）には、それなりの目的があると思うが、現状のままではよいのか。他に考え（計画）があるのか。

答 深水農林水産課長
緑地帯の枯れている

枯木を順次伐採

木は、順次伐採していく予定である。今後の計画は、関係課と検討し、海岸の防風対策、森林体験活動支援事業で、植栽を考える。その他の質問事項
○花徳支所について
○総合食品加工センターの運営について



建て替え予定の町営住宅（山地区）

次の定例会は12月です

みんなで議会を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 8 2 - 1 1 1 1（内線 331 番）

※定例会の様子をインターネットでご覧いただけます。町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。



議会傍聴の様子

なぜ裁判か

内 重男 議員



問 住民訴訟「土地取得差し止め」23年7月提訴。「土地取得代金1億5千万円の支払いを求める損害賠償請求」24年6月提訴。2件の裁判がなぜ提訴されたと思うか。現在も裁判中だが、長期化しているのは、なぜか。

答 高岡町長
提訴された理由は、病院移設の話が「あった」「なかった」ということだ。長期に及んでいるのは、相手方の弁護士からの資料の要求が続いているからだ。もう終盤にきていると思う。

結審は近い

美農里館の運営方針

問 約7億円で建築した「美農里館」は、加工

品を製造販売して利益を得る食品工場だと思う。町が運営委託料を払って委託するのは、町民の理解は得られないと思う。賃賃料を取るべきと思うが。

町が支える分野

答 高岡町長
食品加工は、委託当初からは売上げは見込めない。また、地産を原料とする、コスト面についても考慮するべきであり、建設前から減価償却等は、町が負担することになる。今後、3年間くらい軌道に乗るまでは、しっかりとこの分野は支援していきたい。

美農里館の商品の一部



ジャガイモの手取り価格

問 12年度産のジャガイモの市場価格と農家手取り額の推移、その差額の内訳。Aコープで一袋500グラム148円、キロ296円で販売。売り出し期間3月21～24日、この期間の市場価格と農家手取り価格は、いくらだったか。

答 深水農林水産課長
3月の市場価格110円に対し農家手取り額47円。差額の内訳は、市場、県経済連、農協手数料、出荷運賃、選果経費、資材代、振興会費、出資予約等の諸費用である。売り出し期間3月は、市場価格キロ100円、農家手取り額40円。

市場100円

手取り40円

その他の質問事項
○副町長の政治姿勢について
○徳之島市場・アンテナショップ「旬華」について

連続出場の評価は

木原 良治 議員



問 「全国高校空手道選抜大会25年連続出場」

を果たした徳之島高校の功績は、公立学校として全国でも極めてまれな大記録である。生徒数の減少や離島が故に抱える課題を乗り越えての成果だ。この実績をどう評価し支援していくのか問う。



25年連続出場を果たした徳之島高校空手道部

快挙であり

支援したい

米原総務課長

答

離島から 25 年連続出場は快挙であり、大変素晴らしい。これは、生徒の努力はもとより徳之島の空手道を支える皆さまの理解と協力によるものと思う。今後も支援等をしていきたい。

全天候型

練習場の設置を

問

本町で強化合宿した上武大学野球部と京都産業大学空手道部はともに「大学日本一」に輝いた。今後のスポーツ合宿を増加させるには、全天候型練習場（多目的ウエートトレーニング付）の設置が不可欠である。事業計画を問う。

財政状況も

考慮し検討

琉社会教育課長

答 徳之島は、パワース

ポットとして、多くのスポーツ合宿が行われている。誘致を進めていくうえで全天候型練習場は不可欠

花徳支所の強化を

で、防災設備を兼ね備えた施設として早急に整備する必要がある。財政状況も考慮し検討していく。

その他の質問事項
○奄美群島日本復帰 60 周年について

東天城中学校の早期基本設計を

田袋 徹二 議員

問

東天城中学校の建て替えは、学校再編協



問

旧東天城地区の衰退に歯止めをかけるために、花徳支所に「北部振興対策課（仮称）」を新設し、専任の職員を配置できないか。

来年度へ向けて

答

高岡町長
花徳支所は、東天城

地区振興にはかせないものなので、行政上の権限等について関係課と協議し、来年度に向けて考えていきたい。



花徳支所の事務風景

学校側や校区の意見も大事

議会の答申を待たずとも、早く基本設計しないと平成 27 年の着工は難しくないか。
建て替えは現在地で、校庭のかさ上げと地震、津波に強い校舎の建設を望む。

答

岡元学校教育課長

校舎建設は、平成 26 年度に基本設計を終えた。今後は、財政的な調整を経たうえで早期の建設着工に取り組む。地震・津波に強い校舎建築は、基本設計の中で考えていくとともに、学校側や校区の意見も広く取り入れていきたいので、校舎建設促進委員会等の組織体制づくりもお願いしたい。

7 月臨時会（第 3 回）で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果			
(議案)				
・ 損害賠償の額の決定	可	決		
・ 平成 25 年度一般会計補正予算（第 3 号）	原	案	可	決
・ 平成 25 年度水道事業会計補正予算（第 2 号）	原	案	可	決

産婦人科医の負担軽減も重要

幸 千恵子 議員



問 安心して出産できるためには、産婦人科医が徳之島に常駐することが必要であり、医師の過重労働を減らすためには、助産院設置や保健センターへの助産師配置などできないか。

医師2人体制を

答 高岡町長
医師の過重労働を軽減するために、医師2人体制へ向けて、3町で取り組んでいるところだ。助産師についても、今後は重要と考えている。

給水施設設置は個人負担では

問 亀津南区に、徳寿園が1千万円、町が2千万円で給水タンク1基設置が予算化された後に、1千5百万円の町負担で2基目が計画された。給水施設設置は個人負担あるいは

事業者負担としてきたこれまでと違うのはなぜか。
タンクの容量が小さい

答 白山水道課長
高台等は、時間帯で水圧が弱く個人負担でポンプを設置したら水は出る。しかし、建築中の徳寿園一帯は、町の管理している16トタンクからでは容量が小さく、ポンプを設置しても水量が足りない。そのため町の負担で40トタンクを設置する。



容量が40トンの給水施設

住宅リフォーム助成制度の導入を

問 住宅リフォーム助成制度の導入について、前回は「県への要望を行い廃品回収費補助金と合わせて導入したい」との答弁だったが、制度導入について検討しているのか。また導入時期は怎么样了になっているか。

答 麓建設課長
住宅リフォーム助成制度の導入予定は、11月ごろ県に来年度要望をあげて、平成26年度からの制度導入をしたい。

平成26年度 導入予定

問 今年の記事的な干ばつで畑かんの重要性を新たに認識した。本町の耕地面積2330畝のうち、1066畝(45・7%)が対象となるが、今後の営農ビジョンは。対象外の1262畝の農地にボーリング事業等はないか。

答 深木農林水産課長
干ばつ被害等で、作物の計画的な作付や安定生産に多くの課題がある。今後は、畑かん施設整備や通水面積拡大に伴い、計画的な水利用による営農、高収

水利用による営農、高収益作物導入

問 旧東天城村時代に建設されている轟木ダムを有効利用する方法はないか。ファームpondへ通水することはできないか。

答 旧東天城村時代に建設されている轟木ダムを有効利用する方法はないか。ファームpondへ通水することはできないか。

畑かん営農ビジョンを

福岡 兵八郎 議員



問 今年の記事的な干ばつで畑かんの重要性を新たに認識した。本町の耕地面積2330畝のうち、1066畝(45・7%)が対象となるが、今後の営農ビジョンは。対象外の1262畝の農地にボーリング事業等はないか。

答 里内耕地課長
畑かん事業対象外農地の水利用対策は、現在農業用水タンク16カ所を利用してらっている。畑かん用ボーリング事業は、今後補助事業等で対応できないか検討していく。

補助事業検討

益作物の導入を図り農家所得向上を図りたい。

轟木ダムの有効利用を

問 旧東天城村時代に建設されている轟木ダムを有効利用する方法はないか。ファームpondへ通水することはできないか。

答 旧東天城村時代に建設されている轟木ダムを有効利用する方法はないか。ファームpondへ通水することはできないか。



有効利用が検討されている轟木ダム

費用対効果等を 検討

里内耕地課長

答 花徳地区県営畑かん

事業のファームポンドへの送水は、河川に頭首工を設け、加圧ポンプで送っており電気代等の経費が必要だ。轟木ダムから直接の通水は、費用対効果等を調査・

検討を行いたい。また、維持管理は、地元の協力体制が不可欠なので、ご協力をお願いしたい。

土地購入 の投資額

問

白寿苑の敷地 5125平方メートルを除いた1万4711平方メートル

投資額は（土地代、造成費、訴訟費等）。結果的に完成面積は6232平方メートルで2筆（取得面積の42％）になっているが、今後の計画は。

総額4億6千万円

答

米原総務課長

事業費は、造成9646万円、町道改良3780万7千円、植土工場5398万円、函渠2432万8千円、シルバーハウジング策定委託505万7千円、訴訟費用63万円、土地代2億4372万7千円で、総額4億6千万となっている。

シルバーハウジ ングを建設予定

答

麓建設課長

シルバーハウジングの整備予定は、平成26年度に実施設計、平成27年度に8棟16戸の整備を予定している。

財源ごとの総額は

広田 勉 議員

1890万円、リース料年自己負担648万8千円。

問

龍郷町は町内の80歳以上の方に敬老祝いを贈呈。大和村でも70歳以上の方に記念品や年金が支給され、宇検村は百歳に

敬老年金の 復活はないか

問

TMRセンターと関連のコントラクター

部門・意識高揚対策事業・実用技術対策事業等に出ている財源ごとの総額はいくらか。27年の本稼働までの必要経費とリース料は年いくらか。

総額2億128万円

答

深水農林水産課長

TMRセンター事

業費1億7900万円、コントラクター部門費8300万円、意識高揚費2700万円、実用技術対策国費465万6千円、町費総額1億886万2千円。本稼働までの経費



完全混合飼料を製造するTMRセンター

(前ページからの続き)

なると50万円支給される。以前徳之島町にもあったので復活し、百歳以上に3万円支給している祝い金を分割にせず一括支給を。「老人と子どもは急には作れない」

復活は厳しい

答 宮之原介護福祉課長
財政状況が厳しく敬老

年金は廃止になった経緯があり、復活は厳しい。

敬老祝い金は条例に基づき給付方法で、一括よりも半年に1回のほうが、より多くの方に支給できるのではないかと考える。

取り崩しても

マイナス要因は

問 24年度実質単年度収支は、積立金

4億円を取り崩しても2億9千50万2千円の赤字を出した。歴代過去最高の取り崩しとマイナス額になっているが、この最大の要因は何か(詳しく)。

歳入の減額と

歳出の増額

答 米原総務課長

その原因は、歳入で

町民税が2791万円、地方交付税7108万円の減額。歳出は、扶助費4500万円、災害復旧単独事業1億1773万円の増額等が要因だ。

地域経済の低迷

答 西川収納対策課長
ここ2年間に相次い

だ大型台風や、害虫被害等に起因する農家所得の減少、及びそれに伴う地域経済の低迷が考えられる。

その他の質問事項

○誘蛾灯について

○24年度決算について

○課税通知について

避難所整備を急げ

是枝 孝太郎 議員



防災に備えた

施設

答 米原総務課長
避難所は、各地区の

問 徳之島町防災マップの、避難所に指定されている山里公民館施設等の防災に関わる整備について伺う。
公民館45カ所を指定している。今後、公民館等の建て替えは、防災に備えた施設として自主防災組織等と協議をして考えたい。



自学自習に取り組む子どもたち

学士村塾の

活動内容

問 徳之島町で行われている学士村塾について、どのような活動内容で行われているのか。また、現段階での課題等はあるのか。

中学生の

参加が少ない

答 岡元学校教育課長
学士村塾は、町内7カ所で開講、塾長10人、塾生228人で毎週土曜日の

午前中、自学自習を行っている。課題は、中学生の参加が少ないことと長時間多

学年の児童生徒をいかに静かに学習させるかが、各塾長の悩みである。学校職員の協力がある塾は参加人数も多く、スムーズな運営ができています。

大島地区は

学力県下最下位

答 秋武教育長
大島地区の児童生徒

の平均学力は、県下13地区で最下位。徳之島町は、地区12市町村の7、10位あたりにある。子どもたちの将来の幸せのために、今、学力を付ける必要がある。学士村塾、向学塾にもっと参加させてほしい。

防護柵設置を

急げ

問 イノシシ防護柵設置の今後のスケジュールと設置組織編制について、どのように考えているのか伺う。

資材発注予定

答 深水農林水産課長
防護柵設置は、初めに

駐在員を中心に地元関係者で、設置場所のルートを選定。除草作業等や整地作業後、地元と作業委託契約を交わし関係者で設置する。11月初旬に資材を発注予定。管理組合組織は、設置作業を進めながら編成予定。その他の質問事項
○社会教育振興について

徳之島地区介護保険組合議会（平成 25 年第 2 回定例会）報告

日時：平成 25 年 10 月 2 日午後 4 時

場所：徳之島町議会本会議場（3 町持ち回り：次回は伊仙町）

議案第 1 号

- ・平成 24 年度徳之島地区介護保険組合会計歳入歳出決算が認定されました。

歳入総額 3,314 万 6,354 円

歳出総額 2,857 万 6,193 円

歳入歳出差し引き総額 457 万 161 円→来年度へ繰越

議案第 2 号

- ・平成 25 年度徳之島地区介護保険組合補正予算（第 1 号）について

歳入歳出それぞれに 462 万 4,000 円が追加され、総額は歳入歳出それぞれ 3,391 万 1,000 円となりました。

※平成 24 年介護認定審査件数

徳之島町 736 件 伊仙町 480 件 天城町 631 件 合計 1,847 件

※平成 24 年障がい認定件数

徳之島町 46 件 伊仙町 32 件 天城町 20 件 合計 98 件

※議会の前に介護保険組合議員勉強会を実施。介護保険の申請から認定までの流れを学びました。

※徳之島地区介護保険組合議員（徳之島町）

議長 福岡兵八郎

議員 木原 良治

議員 幸 千恵子

編集
後記

この 9
月定例会
は、24 年
度の決算
審査が入

り、事業済の現地視察（イ
ノシシ進入防止柵・救急用
ヘリコプター場外離着陸
場）もありましたので、い
つもの議会より長く毎年 10
日間ほどになります。

花徳支所を除く全課員
による実施事業の報告・説
明を詳しく議員に求められるので、この議会が終わると
各責任者はほっとすることでしょう。

執行機関の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施
が、全て適法・適正になされているかどうかを、私たちは、
住民全体の立場に立つての批評であり監視をするもので
す。まさに「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営
の批判と監視」は、議会が持つ 2 つの使命を完全に達成
できるよう議会の一員として、常に懸命に努力すること
は私たち議員の職責でしょう。ここに新たに自戒の念を
込めて「議会だより第 173 号」をお届けいたします。

文責 広田 勉

議会だより編集委員

委員長 広田 勉

副委員長 徳田 進

委員 幸 千恵子

委員 行沢 弘栄

委員 芝田 竜星



編集委員会の様子